

自動運転の実証実験(静岡県沼津市)に参加

～日本初の定刻運行支援を検証～

株式会社 小系製作所（本社：東京都港区、社長：三原弘志）は、静岡県が手掛ける「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」に参画し、2020年1月22日(水)から沼津市で実施される自動運転実証実験に参加いたしますのでお知らせいたします。

この実証実験において、日本で初めて、車両位置情報を利用した自動運転バス優先信号制御による定刻運行支援の検証を当社は行います。定刻運行支援は、バスが定刻通りに運行・到着できるよう、交通管制センターが信号機を制御するシステムです。

バスに搭載した車載器からの位置情報やバス時刻表等を基に、管制システムが停留所到着時刻や交差点通過時刻を予想・比較し、定刻に対する遅延等が発生しないよう、信号秒数等を調整・変更します。

CASE（コネクティッド、自動運転、シェアリング、電動化）に代表される、将来のスマートモビリティ社会の実現には、交通インフラとクルマ・人の協調が必要不可欠となります。

当社はこれまで培ってきた自動車照明器技術などを活用し、各種センサ（LiDAR、ミリ波レーダー、カメラ等）・通信機能・AI等を搭載した自動車ランプやスマート信号機・街路灯等の次世代製品の実用化に向けた開発を推進しています。

今後とも、企業メッセージ「安全を光に託して」のもと、最先端の技術を追求し、より多くのお客様に魅力ある製品・サービスを提供、安全・安心・快適な交通社会の実現と社会から信頼される企業を目指してまいります。

【バス定刻運行支援のイメージ】

